

(家庭数配付)

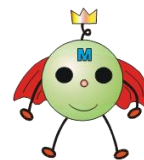


黒崎みなみ

学校教育目標

「なかよく やりぬき たかまる子」

令和6年度
学校だより第3号



令和6年7月3日(水)
新潟市立黒崎南小学校

おこなったことは 分かる

校長 林 なおみ

6月27, 28日に6年生が、福島県の会津若松市・猪苗代町へ修学旅行に行きました。修学旅行の一日目に、「班別自主研修」で鶴ヶ城下の町巡りをします。子どもたちは、事前学習で、活動班ごとに行きたいところと回る順番を決め、行程表を作成しました。

準備万端で臨んだ当日、修学旅行シーズンの現地には、修学旅行の小学生が多く訪れていました。バスや昼食のお店が混んで入れないという状況が各所でありました。心配になって、要所で待機していた先生方に子どもたちの様子を聞くと、黒崎南小学校の子どもたちは、行程を見直して、重要な場所へ先に行くように回る順番を入れ替えたり、店が混む前に早めに昼食をとったりして臨機応変に行動していたそうです。他校の子どもがヘルプコールで引率の先生にアドバイスを求めていましたが、黒崎南小学校のヘルプ携帯が鳴ることは一度もありませんでした。

修学旅行を通して、子どもたちは「協力」「挑戦」「やってみたい思い」の大切さを確かめていました。

私は、修学旅行で協力を学びました。私は、始まる前もっとバタバタしていると思っていました。でも、みんなで協力すればうまくいくと分かりました。これからの学校生活でも修学旅行で学んだ協力を生かしていろいろなところで活躍したいです。()

僕は、修学旅行でやったことのないものに挑戦することを学んだので、やったことのないことをやることを、学校生活でも生かしていきたいです。()

私はみんなと協力し、自分が学びたい、知りたい、行ってみたいところを積極的に見て学びを深めることが大切なのかなと思います。そのために、日常で班や周りの人と話してみたり、先生の話をしっかり聞いたりしたいです。()

中国古典の翻訳であるという英語の3行詩があります。

I hear, and I forget. 聞いたことは忘れる。

I see, and I remember. 見たことは覚える。

I do, and I understand. おこなったことは分かる。

修学旅行の「班別研修」で、子どもたちは自分たち自身で協力して活動を創り上げる経験をしました。そこには、大人の予想をはるかに超えた「分かる」がありました。



【会津藩校日新館で弓道体験】

「ストップ・ザ・いじめ」いじめ0集会をしました

「いじめ」は、言葉や態度、暴力などで攻撃することで、いじめられている子どもの心や体が傷ついたり、被害を受けたりすることです。メールやLINE、SNSでのいじめも同じです。「これくらい大丈夫」と思うのはまちがいです。その子が傷つけばいじめです。黒崎南小学校では、「誰もが安心して生活できるように、学校の中でも外でも、みんな協力し合っていじめを防ぐことをめあてに、いじめ0集会を行いました。

ストップ！私たちの身の回りにもあるいじめ



人のものをとる・かくす



いやがる あだ名でよぶ



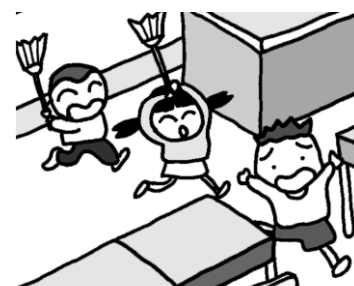
ばかにする



人のものをかっぺに見る(さわる)



わる口(かげ口)をいう



追いかけてまわす



なかまはずれにする・さべつする



ぼうりよくを ふるう

いじめはいけない、いじめをしたくない。みんながそう思っています。一人一人がいじめを自分事として考え、「毎日の生活の中にあるいじめ」に気付き、いじめをなくしていくように行動することが大切です。「いじめ0集会」で、全校がそのことを確かめ合いました。



水着でかくれる部分はプライベートゾーンです。見たり、触ったりしてはいけません。ズボン下ろしも絶対にしてはいけません。